

平成 29 年 11 月 日

文京区長 成澤 廣修 様

文京区特別職報酬等審議会

会長

特別職の報酬等の額について（答申）

平成 29 年 11 月 6 日、文京区特別職報酬等審議会条例（昭和 39 年 7 月文京区条例第 30 号）第 2 条第 2 項の規定に基づき意見を求められた「区議会議員の議員報酬の額並びに区長、副区長及び教育委員会教育長の給料の額について」、別紙のとおり答申します。

答 申

1 はじめに

本審議会は、平成 29 年 11 月 6 日、文京区特別職報酬等審議会条例第 2 条第 2 項の規定に基づき、文京区長から、区議会議員の議員報酬の額並びに区長、副区長及び教育委員会教育長の給料の額(以下「特別職の報酬等の額」という。)について意見を求められた。

本審議会は、慎重に審議を行い、その結論をこの答申として取りまとめたものである。

2 一般職の給料及び特別職の報酬等の額の状況

(1) 一般職に対する平成 29 年の特別区人事委員会勧告

公民較差

| 民間従業員平均給与 | 職員平均給与 | 較 差 |
|-----------|-----------|---------------|
| 394,038 円 | 393,512 円 | 526 円 (0.13%) |

(2) 昨年度の状況

一般職については、特別区人事委員会の「公民較差 584 円 (0.15%) を解消するため、給料表の引上げ改定を行うべきである」とする勧告に基づき、増額改定が行われた。

本審議会は、特別職の報酬等の額について、一般職と同等の措置を適用することが必要であるとの答申を行ったところであるが、現下の社会経済情勢等を総合的に考慮し、現行のまま据え置くこととされた。

(3) 他の特別区との比較

現行の特別職の報酬等を他の特別区と比べると、順位は中位から下位に位置し、その額も平均値を下回っている状況にある。

3 基本的な考え方

特別職の報酬等の額については、以下の点を考慮し、総合的に判断する。

- (1) 10月の月例経済報告（内閣府）によると、「景気は、緩やかな回復基調が続いている。」
- (2) 文京区は、着実な財政運営を行っており、特別区税収入も堅調に推移しているが、社会保障関係経費の増加や施設改修等の課題もあり、予断を許さない状況である。
- (3) 特別区人事委員会により、一般職の給料月額を 0.13%引き上げ、また、勤勉手当については、0.1 月引き上げる勧告が出ている。
- (4) 文京区の特別職の報酬等の額は、23 区中、中位から下位に位置している。

4 本審議会における議論

- (1) 区政を取り巻く社会経済情勢を踏まえる必要がある。
- (2) (報酬等の方向性について及び方向性を決定するに当たって考慮したこと)

5 審議結果

本審議会は、特別職の報酬等の額については、()
が妥当であるとの結論に達した。

6 その他

今後、社会経済情勢の急激な変動や他の特別区との均衡の大きな崩れなど、文京区の特別職の報酬等をめぐる状況に大きな変化が生じたときには、本審議会を開催し、額の見直しを検討すべきである。

(その他ご意見等)

文京区特別職報酬等審議会委員

会 長

職務代理者

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員

委 員